

【学習に関して】

Q. ひとクラス何人ですか

A. 30人程度で想定しております。

Q. インターナショナルクラスのカリキュラムを教えてください

A. 一条校として、授業時間数・授業内容ともに文部科学省の規定をクリアできるカリキュラムとなっております。iTimeという探究的な時間での教科横断的な学習とPBL型授業を取り入れることで、英語で思考力を育てます。

Q. 担任の先生が全ての教科を教えますか

A. 国語は日本人の教員が担当します。芸術系・体育等は学年によって専科の教員になる可能性がございます。

Q. iPadは使用しますか

A. 1年生では授業で必要な時に学校のものを使用します。2年生以降はひとり一台iPadを持ち、学校・自宅での学習で使用します。

Q. 途中で星美クラスに変更することはできますか

A. 年度の切り替え時のみ変更を検討します。教員・保護者・子ども本人とよく相談をし、必要があり能力的にも可能であると判断された場合は変更を行います。

Q. 英語が得意になる分、日本語の知識が不足することはありませんか

A. 国語の授業は文部科学省の規定で認められた時間数を確保しております。漢字も教えますので、日本語力も確かなバイリンガルになることが可能です。

Q. 宗教教育はどのようなものでしょうか

A. 6年間を通じて、カトリックの教えのもと「人を大切にする」「感謝の気持ちをもつ」「様々な人と連携して生きる」など、人として大切なことを学んでいきます。

【日常生活に関して】

Q. 行事はどのような内容がありますか

A. 入学式、始業式、終業式などの節目の行事の他に、宗教行事の聖母祭、保護者会主催のドンボスコファミリーデーがあります。インター独自の行事として、スポーツデー、ドラマデー、ミュージックデーなどを実施予定です。また、高学年では、短期の海外研修も検討しております。

Q. 昼食はどうすればよいですか

A. 毎日お弁当が注文できるシステムの導入が決定いたしました。価格は交渉中ですが、ご家庭の状況に合わせて適宜ご利用いただくことができます。

Q. 星美クラスの子どもとの関わりはありますか

A. 休み時間や昼食、儀式などの節目の行事やドンボスコファミリーデーで交流を予定しています。地区別班での関わりもあります。

Q. 通学時間や通学区域等の制限はありますか

A. 学校としては制限はありません。安全に登校できる範囲であることをご家庭でご確認ください。

Q. 下校はどのような方法がありますか

A. 現在在学中の児童の下校方法は以下の通りです。

- ・入学後、1週間ほどは保護者に学校までお迎えをしていただく
- ・4月中旬までは教員が赤羽駅・もしくは赤羽岩淵駅まで送る
- ・4月下旬は坂下まで送り、徐々に子どもたちだけで下校できるようにする（赤羽駅・赤羽岩淵駅まで迎えに来ていただくことも可能）
- ・5月の連休明けには、ひとりで登下校できるようになる

お子さまが自力で登下校できるようになれば、同伴はしていただくなくて大丈夫です。体調が悪くなったときは原則お迎えに来ていただきます。その際はお車での来校も可能です。通常時のお車での送迎は検討中です。

Q. 土曜日は登校しますか

A. 基本的には休日です。年に数回、行事等で登校する日はあります。

【日常生活に関して】

Q. 保護者が英語で話すことができませんが大丈夫ですか

A. 日本語が話せる教員がサポートします。担任はインターナショナルティーチャーなので、1対1の日本語でのお話はいずれも可能です。

Q. 保護者が日本語が苦手ですが大丈夫ですか

A. 担任がインターナショナルティーチャーなので英語での対応が可能です。学校からの配布物は日本語のものもあります。翻訳ツールなどでご対応ください。

Q. アフタースクールに参加できますか

A. 有償で参加できます。習い事のプログラムやイベントもあります。土日祝日、年末年始、お盆の時期を除き、長期休みの時も預かりも実施しています。

Q. アレルギー対応はどのようになっていますか

A. 入学準備の際、保健調査票にお子様の体質やアレルギー等について記入していただきます。食物アレルギーがある方には、給食の成分表をお渡しできます。また、届けを出していただければ、年間を通じて給食を停止し、お弁当を持参することも可能です。

Q. 学校で日常生活において使用言語の制限はありますか

A. 使用言語の制限はありません。より良いコミュニケーションをとることができる言語を各場面でぜひ使い分けてください。

Q. 制服はありますか

A. 現在、新制服を作成中です。正装が必要な行事の時はジャケットタイプの制服を着用します。普段はポロシャツ＋ハーフパンツのようなカジュアルな制服で学校生活を快適に過ごせるようにいたします。

Q. 指定のバッグはありますか

A. 本校オリジナルの機能性が高く軽い素材で作っているバッグ（リュックタイプ）がありますが、私物のバッグでも構いません。私物の場合は色指定をさせていただきます。



【日常生活に関して】

Q. 保護者はどの程度来校する必要がありますか

A. 学期に一回程度の面談にはご来校をお願いいたします。そのほかのイベントや交通見守りへのご参加は任意です。

【入試に関して】

Q. 早生まれの配慮はありますか

A. 入学試験において、出題内容に差をつけることはありません。

Q. 面接日は選べますか

A. みなさまの希望を叶えることは困難なため、希望は承っておりません。
どうしても都合がつかない場合には、面接日が通知された後にご相談ください。変更を検討いたします。

Q. 星美クラスとの併願はできますか

A. 同日に併願することはできません。別の受験日で、星美クラスを受験することは可能です。

Q. インターナショナルクラスと星美クラスとのスライド合格はありますか

A. 試験内容に違いがあるため、スライド合格制度は実施いたしません。

Q. 親子面接は両親でなければなりませんか

A. 親御様はお一人でもお二人でもかまいません。また、お二人の方が有利ということもございません。

Q. ペーパー試験・グループ活動試験の発問は何語ですか

A. ペーパー試験・グループ活動試験の発問は、帰国生・国際生へは英語のみ、一般生は英語と日本語の2言語で行います。

Q. 面接試験の言語は何語ですか？

A. 児童は受験種別によって異なります。帰国生・国際生は英語メイン+若干の日本語、一般生は日本語メイン+若干の英語（英語力を見るわけではありません）で行います。
なお保護者は日本語か英語か希望制です。

Q. グループ活動試験は何人で行いますか

A. ひとグループ4名程度で実施いたします。

Q. 製作や絵画の試験はありますか

A. グループ活動試験の指示の一環で行動として指示が入る可能性がありますが、製作力や絵のうまさは審査対象ではありません。

【中高に関して】

Q. 中高のAdvanced Groupに進学する際の英語力の目安はどの程度でしょうか

A. 2025年現在ではCEFR B1（英検 2 級）以上を出願資格としております。2032年中学受験ではさらに高い英語力、CEFR B2（英検準 1 級）などが必要となる想定をしております。小学校インターナショナルクラスの卒業時のレベルも、こちらに通じるものになるとお考えください。

Q. 中高のDDP（Dual Diploma Program）について教えてください

A. 高校 1 年生の 3 学期より、西オーストラリア州の高校卒業資格が取得できる WACEカリキュラムと高校 3 年生で海外大学の教養科目レベルの AP（Advanced Placement）試験を受けることができるプログラムです。

Q. 海外大学への進学はどのようにになりますか

A. DDPにより日本とオーストラリアの高校卒業資格を習得できるため、海外大学への進学が非常にスムーズです。また、サレジアン中高はAPの認定校ですので、試験に合格すれば、特定の海外大学に基礎教養的科目を履修済みとして進学することができます。

Q. 海外大学への進学実績はありますか

A. 中学 1 期生が2025年度で高校 1 年生となるため、まだ進学実績はございません。3 年後にご期待ください。